

自己資本の充実等の状況 自己資本の構成に関する開示事項（連結・単体）

1. 自己資本の構成に関する開示事項

■ 連結自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円）

項 目	2018年度中間期		2019年度中間期	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	311,742		320,578	
うち、資本金及び資本剰余金の額	42,087		42,090	
うち、利益剰余金の額	271,358		280,263	
うち、自己株式の額（△）	606		680	
うち、社外流出予定額（△）	1,096		1,095	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△3,204		△4,482	
うち、為替換算調整勘定	—		—	
うち、退職給付に係るものの額	△3,204		△4,482	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	292		281	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	3,830		3,894	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	172		189	
うち、適格引当金コア資本算入額	3,658		3,704	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,381		1,124	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	765		634	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	314,808		322,030	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	1,557	389	4,272	
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—	—	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	1,557	389	4,272	
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	159	39	311	
適格引当金不足額	—	—	—	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	
退職給付に係る資産の額	41	10	25	
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	0	0	0	
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—	—	
特定項目に係る10%基準超過額	—	—	—	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	—	
特定項目に係る15%基準超過額	—	—	—	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	—	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	1,759		4,609	
自己資本				
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	313,048		317,420	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	2,088,864		2,133,201	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△5,335		△1,142	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）	389		—	
うち、繰延税金資産	39		—	
うち、退職給付に係る資産	10		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△4,812		△155	
うち、上記以外に該当するものの額	△963		△987	
マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	119,579		118,723	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,208,443		2,251,924	
連結自己資本比率				
連結自己資本比率 $\left(\frac{(ハ)}{(ニ)} \times 100\right)$	14.17%		14.09%	

■ 単体自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円）

項目	2018年度中間期		2019年度中間期	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	299,191		308,641	
うち、資本金及び資本剰余金の額	36,221		36,225	
うち、利益剰余金の額	264,673		274,192	
うち、自己株式の額（△）	606		680	
うち、社外流出予定額（△）	1,096		1,095	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	292		281	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,279		4,293	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	102		123	
うち、適格引当金コア資本算入額	4,176		4,169	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,381		1,124	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	305,145		314,340	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	1,509	377	4,191	
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	1,509	377	4,191	
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—	—	
適格引当金不足額	—	—	—	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	
前払年金費用の額	2,521	630	3,596	
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	0	0	0	
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—	—	
特定項目に係る10%基準超過額	—	—	—	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	—	
特定項目に係る15%基準超過額	—	—	—	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	—	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	4,031		7,788	
自己資本				
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	301,113		306,551	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	2,099,076		2,139,618	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△4,611		△987	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）	377		—	
うち、繰延税金資産	—		—	
うち、前払年金費用	630		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△4,656		—	
うち、上記以外に該当するものの額	△963		△987	
マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	114,900		113,949	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,213,977		2,253,568	
自己資本比率				
自己資本比率 $(\frac{(ハ)}{(ニ)} \times 100)$	13.60%		13.60%	

(注) 1. 自己資本比率は、2006年金融庁告示第19号（以下、自己資本比率告示）に定められた算式に基づき、連結ベースと単体ベースの双方について算出しております。
 なお、当行は、国内基準を適用のうえ、信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を採用しております。
 2. マーケット・リスク相当額については、自己資本比率告示第27条第2項および第39条第2項の規定に従い、算入していません。

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

1. その他金融機関等（自己資本比率告示第29条第6項第1号に規定するその他金融機関等）であって、銀行の子法人等であるもののうち、自己資本比率規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

該当事項はありません。

2. 自己資本の充実度に関する事項

1 信用リスクに対する所要自己資本の額

○ 連結

(単位：百万円)

項目	2018年度中間期	2019年度中間期
信用リスクに対する所要自己資本の額 ((D)、(E) を除く) (A)	168,858	179,468
内部格付手法が適用されるエクスポージャー (B)	167,383	177,962
事業法人等向けエクスポージャー	128,279	133,588
事業法人向け (特定貸付債権及び中堅中小企業向けを除く)	58,382	59,589
特定貸付債権	5,381	6,319
中堅中小企業向け	59,238	62,924
ソブリン向け	2,971	2,875
金融機関等向け	2,305	1,880
リテール向けエクスポージャー	21,516	23,249
居住用不動産向け	14,220	15,771
適格リボルビング型リテール向け	1,394	1,515
その他リテール向け	5,901	5,961
証券化エクスポージャー	—	—
購入債権	1,398	1,377
リース取引	1,909	2,033
その他資産	4,417	7,183
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通株式等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	5,232	5,112
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	4,827	5,286
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー		—
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る五パーセント基準額を上回る部分に係るエクスポージャー		—
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	△418	△78
CVAリスク相当額	220	210
中央清算機関 (CCP) 関連エクスポージャー	0	—
標準的手法が適用されるエクスポージャー (C)	1,474	1,506
内部格付手法の段階的適用資産	—	—
内部格付手法の適用除外資産	1,474	1,506
内部格付手法が適用される株式等エクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額 (D)	17,531	14,876
マーケットベース方式	14,780	12,345
簡易手法	14,780	12,345
内部モデル手法		
PD/LGD方式	2,750	2,530
信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額 (E)	14,060	
リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額 (E)		14,890
ルックスルー方式		13,760
マンドート方式		1,130
蓋然性方式 (250%)		—
蓋然性方式 (400%)		—
フォールバック方式		—
合計 ((A) + (D) + (E))	200,450	209,236

○ 単体

(単位：百万円)

項目	2018年度中間期	2019年度中間期
信用リスクに対する所要自己資本の額 ((D)、(E) を除く) (A)	169,201	180,622
内部格付手法が適用されるエクスポージャー (B)	168,308	179,683
事業法人等向けエクスポージャー	130,104	135,406
事業法人向け (特定貸付債権及び中堅中小企業向けを除く)	60,594	61,770
特定貸付債権	5,381	6,319
中堅中小企業向け	58,852	62,561
ソブリン向け	2,971	2,875
金融機関等向け	2,305	1,880
リテール向けエクスポージャー	21,499	23,222
居住用不動産向け	14,217	15,760
適格リボルビング型リテール向け	1,394	1,515
その他リテール向け	5,887	5,946
証券化エクスポージャー	—	—
購入債権	1,172	1,268
リース取引	—	—
その他資産	6,614	10,289
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通株式等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	5,232	5,112
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	3,833	4,252
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー		—
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る五パーセント基準額を上回る部分に係るエクスポージャー		—
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	△368	△78
CVAリスク相当額	220	210
中央清算機関 (CCP) 関連エクスポージャー	0	—
標準的手法が適用されるエクスポージャー (C)	892	939
内部格付手法の段階的適用資産	—	—
内部格付手法の適用除外資産	892	939
内部格付手法が適用される株式等エクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額 (D)	18,450	15,842
マーケットベース方式	14,702	12,444
簡易手法	14,702	12,444
内部モデル手法		
PD/LGD方式	3,747	3,397
信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額 (E)	15,353	
リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額 (E)		15,920
ルックスルー方式		14,635
マンドート方式		1,284
蓋然性方式 (250%)		—
蓋然性方式 (400%)		—
フォールバック方式		—
合計 ((A) + (D) + (E))	203,004	212,384

(注) 1. 内部格付手法が適用されるエクスポージャーおよびリスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額については、次の算式に基づく所要自己資本の額です。
(所要自己資本の額) = 信用リスク・アセット × 8% + 期待損失額 + 自己資本控除となるエクスポージャーに係る当該控除額
なお、信用リスク・アセットの額は、1.06のスケールリング・ファクターを乗じた後の金額を用いております。

2. 標準的手法が適用されるエクスポージャーについては、次の算式に基づく所要自己資本の額です。
(所要自己資本の額) = 信用リスク・アセット × 8% + 自己資本控除となるエクスポージャーに係る当該控除額

3. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額は裏付資産の構成に従い、上記1. 又は2. のいずれかの方法により計算しております。

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

2 オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

(単位：百万円)

	2018年度中間期		2019年度中間期	
	連結	単体	連結	単体
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	9,566	9,192	9,497	9,115
うち基礎的手法	—	—	—	—
うち粗利益配分手法	9,566	9,192	9,497	9,115
うち先進的計測手法	—	—	—	—

(注) オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額は、「オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額」に8%を乗じた額となります。

3 総所要自己資本額（連結・単体）

(単位：百万円)

	2018年度中間期		2019年度中間期	
	連結	単体	連結	単体
総所要自己資本額	88,337	88,559	90,076	90,142

(注) 総所要自己資本の額はリスク・アセット等の額に4%を乗じた額となります。

3. 信用リスク（リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く）に関する事項

1 信用リスクに関するエクスポージャー

■ 中間期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳

○ 連結

(単位：百万円)

	2018年度中間期					3ヶ月以上延滞 またはデフォルトした エクスポージャー
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高					
	うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引			
標準的手法	15,685	1,637	200	—	493	
内部格付手法	6,062,870	2,985,094	1,252,156	7,709	60,319	
合計	6,078,556	2,986,731	1,252,356	7,709	60,812	

(単位：百万円)

	2019年度中間期					3ヶ月以上延滞 またはデフォルトした エクスポージャー
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高					
	うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引			
標準的手法	16,382	1,616	300	—	339	
内部格付手法	6,373,945	3,111,256	1,082,832	4,553	63,587	
合計	6,390,328	3,112,872	1,083,132	4,553	63,927	

○ 単体

(単位：百万円)

	2018年度中間期				
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高				3か月以上延滞 またはデフォルトした エクスポージャー
	うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引		
標準的手法	10,530	1,637	—	—	126
内部格付手法	6,056,499	3,012,110	1,252,156	7,709	59,430
合計	6,067,030	3,013,747	1,252,156	7,709	59,557

(単位：百万円)

	2019年度中間期				
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高				3か月以上延滞 またはデフォルトした エクスポージャー
	うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引		
標準的手法	11,161	1,616	—	—	121
内部格付手法	6,366,631	3,138,857	1,082,832	4,553	62,616
合計	6,377,793	3,140,473	1,082,832	4,553	62,737

(注) 1. 「3か月以上延滞エクスポージャー」とは、標準的手法における概念で、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している与信先に対するエクスポージャー、または引当金勘案前でリスク・ウェイトが150%となるエクスポージャーをいいます。

2. 「デフォルトしたエクスポージャー」とは、内部格付手法における概念で、債務者区分が「要管理先」以下である与信先に対するエクスポージャーをいいます。

■ 内部格付手法が適用される信用リスクに関するエクスポージャー及びデフォルトしたエクスポージャーの中間期末残高（地域別・業種別・残存期間別）

○ 連結

(単位：百万円)

	2018年度中間期				
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高				デフォルトした エクスポージャー
	うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引		
国内計	5,727,612	2,932,846	1,003,332	7,574	59,954
国外計	335,258	52,247	248,823	135	365
地域別合計	6,062,870	2,985,094	1,252,156	7,709	60,319
製造業	406,997	373,676	14,912	68	11,425
農業、林業	9,593	8,249	810	—	222
漁業	3,109	2,995	50	—	79
鉱業、採石業、砂利採取業	1,320	1,197	50	—	67
建設業	109,857	91,609	11,450	1	3,472
電気・ガス・熱供給・水道業	88,613	67,640	11,615	68	4,014
情報通信業	24,892	23,195	350	—	101
運輸業、郵便業	155,468	108,292	43,291	23	1,437
卸・小売業	361,225	330,887	14,531	174	13,101
金融・保険業	1,773,428	117,596	104,360	6,522	353
不動産業、物品賃貸業	441,072	422,470	13,844	4	6,549
各種サービス業	373,117	333,187	18,380	268	12,665
地方公共団体	599,325	318,246	190,636	579	—
その他	1,714,849	785,849	827,872	—	6,827
うち国債	830,417	—	827,872	—	—
業種別合計	6,062,870	2,985,094	1,252,156	7,709	60,319
1年以下	1,303,158	472,586	152,365	6,366	—
1年超3年以下	719,669	341,865	328,780	76	—
3年超5年以下	702,726	416,418	265,402	740	—
5年超7年以下	365,989	277,723	81,848	50	—
7年超	1,885,450	1,444,583	423,758	476	—
期間の定めのないもの等	1,085,875	31,915	—	—	—
残存期間別合計	6,062,870	2,985,094	1,252,156	7,709	—

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

（単位：百万円）

	2019年度中間期					デフォルトした エクスポージャー
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高					
		うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引		
国内計	6,078,901	3,035,023	899,996	4,514		63,258
国外計	295,044	76,232	182,835	39		328
地域別合計	6,373,945	3,111,256	1,082,832	4,553		63,587
製造業	429,815	392,611	18,003	134		12,672
農業、林業	11,713	9,266	1,360	—		137
漁業	3,171	3,063	50	—		1,071
鉱業、採石業、砂利採取業	1,796	1,654	50	—		0
建設業	113,508	92,180	13,441	5		3,160
電気・ガス・熱供給・水道業	98,925	76,961	8,884	64		2,819
情報通信業	22,839	20,738	1,030	—		222
運輸業、郵便業	157,701	115,034	36,739	30		1,306
卸・小売業	363,549	330,226	17,495	251		13,783
金融・保険業	2,110,323	117,289	82,756	3,625		542
不動産業、物品賃貸業	449,892	434,766	9,782	2		5,714
各種サービス業	381,191	336,743	22,441	439		14,642
地方公共団体	584,377	305,992	189,049	—		—
その他	1,645,139	874,726	681,749	—		7,512
うち国債	683,635	—	681,749	—		—
業種別合計	6,373,945	3,111,256	1,082,832	4,553		63,587
1年以下	1,236,218	490,459	82,574	2,871		
1年超3年以下	770,317	385,585	343,477	524		
3年超5年以下	629,094	381,411	204,943	472		
5年超7年以下	405,813	298,791	96,540	93		
7年超	1,897,659	1,521,563	355,296	591		
期間の定めのないもの等	1,434,842	33,442	—	—		
残存期間別合計	6,373,945	3,111,256	1,082,832	4,553		

○ 単体

(単位：百万円)

	2018年度中間期				
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高				デフォルトした エクスポージャー
		うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引	
国内計	5,721,241	2,959,862	1,003,332	7,574	59,065
国外計	335,258	52,247	248,823	135	365
地域別合計	6,056,499	3,012,110	1,252,156	7,709	59,430
製造業	402,173	373,676	14,912	68	11,356
農業、林業	9,380	8,249	810	—	221
漁業	3,051	2,995	50	—	79
鉱業、採石業、砂利採取業	1,247	1,197	50	—	63
建設業	105,491	91,609	11,450	1	3,450
電気・ガス・熱供給・水道業	88,326	67,640	11,615	68	4,014
情報通信業	23,812	23,195	350	—	100
運輸業、郵便業	152,638	108,292	43,291	23	1,410
卸・小売業	353,793	330,887	14,531	174	12,747
金融・保険業	1,773,199	117,596	104,360	6,522	353
不動産業、物品賃貸業	465,658	449,486	13,844	4	6,532
各種サービス業	361,049	333,187	18,380	268	12,279
地方公共団体	598,472	318,246	190,636	579	—
その他	1,718,203	785,849	827,872	—	6,820
うち国債	830,417	—	827,872	—	—
業種別合計	6,056,499	3,012,110	1,252,156	7,709	59,430
1年以下	1,302,031	472,986	152,365	6,366	
1年超3年以下	714,149	345,840	328,780	76	
3年超5年以下	706,588	438,568	265,402	740	
5年超7年以下	360,624	277,723	81,848	50	
7年超	1,883,373	1,444,583	423,758	476	
期間の定めのないもの等	1,089,733	32,406	—	—	
残存期間別合計	6,056,499	3,012,110	1,252,156	7,709	

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

（単位：百万円）

	2019年度中間期				
	信用リスクエクスポージャー中間期末残高				デフォルトした エクスポージャー
		うち貸出金	うち債券	うちデリバティブ取引	
国内計	6,071,587	3,062,624	899,996	4,514	62,287
国外計	295,044	76,232	182,835	39	328
地域別合計	6,366,631	3,138,857	1,082,832	4,553	62,616
製造業	424,211	392,611	18,003	134	12,564
農業、林業	11,458	9,266	1,360	—	137
漁業	3,118	3,063	50	—	1,063
鉱業、採石業、砂利採取業	1,704	1,654	50	—	—
建設業	108,613	92,180	13,441	5	3,110
電気・ガス・熱供給・水道業	98,671	76,961	8,884	64	2,819
情報通信業	21,984	20,738	1,030	—	211
運輸業、郵便業	154,679	115,034	36,739	30	1,285
卸・小売業	356,390	330,226	17,495	251	13,523
金融・保険業	2,110,127	117,289	82,756	3,625	511
不動産業、物品賃貸業	474,636	462,367	9,782	2	5,688
各種サービス業	368,861	336,743	22,441	439	14,228
地方公共団体	583,659	305,992	189,049	—	—
その他	1,648,513	874,726	681,749	—	7,471
うち国債	683,635	—	681,749	—	—
業種別合計	6,366,631	3,138,857	1,082,832	4,553	62,616
1年以下	1,235,354	490,809	82,574	2,871	
1年超3年以下	774,310	400,760	343,477	524	
3年超5年以下	623,215	392,811	204,943	472	
5年超7年以下	399,450	298,791	96,540	93	
7年超	1,895,400	1,521,563	355,296	591	
期間の定めのないもの等	1,438,899	34,118	—	—	
残存期間別合計	6,366,631	3,138,857	1,082,832	4,553	

- (注) 1. 貸出金や債券等のオン・バランス資産は貸借対照表計上額（ただし、信用リスク・アセット額の算出対象外としている総合口座型当座貸越及びその他有価証券の評価益を控除した額）を記載しております。
2. デリバティブ等のオフ・バランス取引は与信相当額を記載しております。なお、デリバティブ取引の与信相当額については、カレント・エクスポージャー方式を採用しております。
3. 地域別では、債務者の所在地によって国内と国外を区分しております。
4. 項目別に区分けを行っていないエクスポージャー（株式等、一部の関連会社資産等）につきましては、業種別の「その他」、残存期間別の「期間の定めのないもの等」に含めております。また、未収収益の残存期間につきましては、一律「1年以下」に含めております。
5. 信用リスクに関するエクスポージャーについては、新規事業などによって期末残高が当期のリスク・ポジションから大幅に乖離している項目はございません。

2 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金及び特定海外債権引当勘定の中間期末残高及び期中の増減額

(単位：百万円)

		2018年度中間期			
		期首残高	期中増加額	期中減少額	中間期末残高
一般貸倒引当金	連結	18,191	648	—	18,839
	単体	17,931	826	—	18,757
個別貸倒引当金	連結	16,642	3,110	3,376	16,376
	単体	16,228	3,048	3,287	15,988
特定海外債権引当勘定	連結	—	—	—	—
	単体	—	—	—	—
合計	連結	34,834	3,758	3,376	35,216
	単体	34,159	3,874	3,287	34,746

(単位：百万円)

		2019年度中間期			
		期首残高	期中増加額	期中減少額	中間期末残高
一般貸倒引当金	連結	18,647	—	34	18,613
	単体	18,510	—	5	18,504
個別貸倒引当金	連結	18,869	2,666	2,467	19,068
	単体	18,412	2,556	2,329	18,640
特定海外債権引当勘定	連結	—	—	—	—
	単体	—	—	—	—
合計	連結	37,517	2,666	2,501	37,681
	単体	36,922	2,556	2,334	37,144

(注) 本項目につきましては、リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーに係るものを除いておりません。

■ 個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳

(単位：百万円)

		2018年度中間期							
		期首残高		期中増加額		期中減少額		中間期末残高	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
国内計		16,642	16,228	3,110	3,048	3,376	3,287	16,376	15,988
国外計		—	—	—	—	—	—	—	—
地域別合計		16,642	16,228	3,110	3,048	3,376	3,287	16,376	15,988
製造業		4,634	4,629	501	497	1,679	1,675	3,456	3,451
農業、林業		50	50	—	—	4	4	45	45
漁業		13	13	—	—	1	1	11	11
鉱業、採石業、砂利採取業		0	—	0	—	0	—	0	—
建設業		725	708	193	171	41	23	877	855
電気・ガス・熱供給・水道業		—	—	—	—	—	—	—	—
情報通信業		42	42	0	0	3	3	39	39
運輸業、郵便業		705	705	217	217	44	44	878	878
卸・小売業		4,139	4,136	463	459	181	179	4,421	4,416
金融・保険業		172	172	—	—	1	1	171	171
不動産業、物品賃貸業		1,103	1,097	484	477	276	270	1,310	1,304
各種サービス業		3,376	3,369	980	973	905	898	3,450	3,443
地方公共団体		—	—	—	—	—	—	—	—
その他		1,678	1,301	269	251	235	183	1,712	1,369
業種別合計		16,642	16,228	3,110	3,048	3,376	3,287	16,376	15,988

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項 (連結・単体)

(単位：百万円)

	2019年度中間期							
	期首残高		期中増加額		期中減少額		中間期末残高	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
国内計	18,869	18,412	2,666	2,556	2,467	2,329	19,068	18,640
国外計	—	—	—	—	—	—	—	—
地域別合計	18,869	18,412	2,666	2,556	2,467	2,329	19,068	18,640
製造業	3,558	3,552	1,532	1,519	266	260	4,824	4,811
農業、林業	45	45	—	—	3	3	42	42
漁業	9	9	27	27	0	0	36	36
鉱業、採石業、砂利採取業	0	—	0	—	0	—	0	—
建設業	850	828	91	71	112	91	829	808
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—	—	—
情報通信業	72	72	33	33	0	0	105	105
運輸業、郵便業	864	864	1	1	41	41	824	824
卸・小売業	5,228	5,223	231	229	885	883	4,574	4,570
金融・保険業	372	372	—	—	1	1	370	370
不動産業、物品賃貸業	1,809	1,792	33	18	371	354	1,471	1,456
各種サービス業	4,031	4,019	193	189	509	497	3,716	3,712
地方公共団体	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2,024	1,629	520	466	274	194	2,270	1,901
業種別合計	18,869	18,412	2,666	2,556	2,467	2,329	19,068	18,640

(注) 1. 一般貸倒引当金について、地域別、業種別の区分ごとの算定を行っておりませんので、本項目については個別貸倒引当金のみを対象にしております。
2. クレジットカード債権に係る個別貸倒引当金は、地域別の「国内」、業種別の「その他」に含めております。

3 業種別の貸出金償却の額

(単位：百万円)

	貸出金償却			
	2018年度中間期		2019年度中間期	
	連結	単体	連結	単体
製造業	0	—	0	—
農業、林業	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	0	—	0	—
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—
情報通信業	—	—	—	—
運輸業、郵便業	0	—	—	—
卸・小売業	0	—	0	—
金融・保険業	0	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	0	—	0	—
各種サービス業	0	—	0	—
地方公共団体	—	—	—	—
その他	2	—	3	—
業種別合計	3	—	4	—

4 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高並びに1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	エクスポージャーの額							
	2018年度中間期				2019年度中間期			
	連結		単体		連結		単体	
	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し
0%	—	0	—	0	—	0	—	0
10%	—	—	—	—	—	—	—	—
20%	—	2,859	—	—	—	2,714	—	—
35%	—	—	—	—	—	—	—	—
50%	—	—	—	—	—	—	—	—
75%	—	—	—	—	—	—	—	—
100%	—	17,075	—	10,976	—	17,784	—	11,566
150%	—	486	—	119	—	332	—	114
250%	—	—	—	—	—	—	—	—
350%	—	—	—	—	—	—	—	—
1250%	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	20,421	—	11,096	—	20,831	—	11,680

- (注) 1. 格付は、原債務者に付与されている格付のリスク・ウェイトにより区分しております。
 2. 格付は、適格格付機関が付与しているものに限定しております。
 3. 地方公共団体、政府関係機関、金融機関については、所在する国の格付のリスク・ウェイトにより区分しております。
 4. 円建ての日本国向けエクスポージャー等の「外部格付によらずリスク・ウェイトが定められているエクスポージャー」については「格付無し」に区分しております。
 5. その他は、ローン・パーティシパーションなどの資産です。
 6. オフ・バランス取引は、カレント・エクスポージャーの額を記載しております。

5 内部格付手法が適用されるエクスポージャーのうち、スロットティング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権及びマーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの残高

■ スロットティング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権におけるリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(単位：百万円)

	スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト区分		エクスポージャーの額	
			期待損失額相当	信用リスク・アセット	2018年度中間期	2019年度中間期
プロジェクト・ファイナンス オブジェクト・ファイナンス コモディティ・ファイナンス 事業用不動産向け貸付	優	2年半未満	0%	50%	541	258
		2年半以上	5%	70%	10,738	9,567
	良	2年半未満	5%	70%	—	110
		2年半以上	10%	90%	3,212	3,575
	可	—	35%	115%	19,169	26,144
	弱い	—	100%	250%	5,677	6,118
デフォルト	—	625%	0%	365	328	
ボラティリティの高い 事業用不動産向け貸付	優	2年半未満	5%	70%	400	400
		2年半以上	5%	95%	1,600	1,600
	良	2年半未満	5%	95%	—	—
		2年半以上	5%	120%	—	—
	可	—	35%	140%	—	—
	弱い	—	100%	250%	—	—
デフォルト	—	625%	0%	—	—	
合計					41,704	48,103

- (注) 1. 「スロットティング・クライテリア」とは、特定貸付債権について自己資本比率告示第153条第4項及び第6項に規定された、リスク・ウェイトの基準となる5つの信用ランク区分です。
 2. 本項目につきましては、単体と連結グループが同じ計数です。

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

■ マーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャーにおけるリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(単位：百万円)

	リスク・ウェイト	エクスポージャーの額			
		2018年度中間期		2019年度中間期	
		連結	単体	連結	単体
上場している株式等エクスポージャー	300%	44,990	44,862	34,509	34,388
上記以外	400%	9,831	9,695	10,514	10,895
合計		54,821	54,557	45,023	45,284

(注) マーケット・ベース方式の簡易手法とは、上場株式について300%、非上場株式について400%のリスク・ウェイトを適用する方式です。

6 内部格付手法が適用されるポートフォリオについての事項

■ 債務者格付ごとのパラメータの推計値及びリスク・ウェイト

① 事業法人向けエクスポージャー

○ 連結

(単位：百万円)

債務者格付	債務者区分	デフォルト区分	2018年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.03%	45.70%	19.10%	79,610	1,502
2			0.03%	45.79%	19.70%	259,270	5,523
3			0.07%	28.25%	16.93%	338,091	214,010
4			0.29%	44.17%	57.05%	307,692	5,614
5			0.46%	44.19%	69.96%	177,779	4,358
6			1.06%	44.18%	100.86%	417,152	5,768
7	要注意先	非デフォルト	2.35%	44.12%	114.90%	113,824	2,614
8			6.07%	44.11%	148.82%	35,792	295
9			13.98%	45.08%	211.50%	38,613	217
10	要管理先	デフォルト	100.00%	44.21%		16,026	—
11	破綻懸念先		100.00%	43.82%		13,908	242
12	実質破綻先		100.00%	45.66%		6,910	35
13	破綻先		100.00%	44.25%		1,256	—
合計			2.71%	40.17%	56.86%	1,805,930	240,182

(単位：百万円)

債務者格付	債務者区分	デフォルト区分	2019年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.03%	45.65%	19.13%	85,392	1,125
2			0.03%	46.70%	20.31%	266,971	5,583
3			0.06%	28.41%	15.97%	365,388	242,358
4			0.25%	44.66%	52.87%	303,916	5,084
5			0.44%	44.39%	70.15%	202,298	5,738
6			1.05%	44.16%	101.45%	429,501	6,245
7	要注意先	非デフォルト	2.34%	43.97%	115.35%	121,952	1,502
8			6.02%	44.27%	148.12%	33,313	459
9			13.60%	45.63%	211.99%	40,433	119
10	要管理先	デフォルト	100.00%	44.43%		18,119	9
11	破綻懸念先		100.00%	44.11%		16,038	199
12	実質破綻先		100.00%	45.63%		7,134	—
13	破綻先		100.00%	44.56%		1,182	—
合計			2.77%	40.23%	55.50%	1,891,643	268,425

○ 単体

(単位：百万円)

債務者格付	債務者区分	デフォルト区分	2018年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.03%	45.70%	19.10%	79,610	1,502
2			0.03%	45.79%	19.70%	259,257	5,523
3			0.07%	28.20%	16.93%	336,536	214,010
4			0.29%	44.17%	57.06%	306,767	5,614
5			0.46%	44.19%	70.00%	176,921	4,358
6			1.06%	44.22%	102.35%	439,864	5,768
7	要注意先	非デフォルト	2.35%	44.12%	114.92%	112,863	2,614
8			6.07%	44.08%	148.39%	34,525	295
9			13.98%	45.08%	211.57%	38,312	217
10	要管理先	デフォルト	100.00%	44.20%		15,888	—
11	破綻懸念先		100.00%	43.81%		13,801	242
12	実質破綻先		100.00%	45.66%		6,890	35
13	破綻先		100.00%	44.16%		1,124	—
合計			2.67%	40.20%	57.60%	1,822,363	240,182

(単位：百万円)

債務者格付	債務者区分	デフォルト区分	2019年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.03%	45.65%	19.13%	85,392	1,125
2			0.03%	46.70%	20.31%	266,872	5,583
3			0.06%	28.35%	15.95%	363,406	242,358
4			0.25%	44.66%	52.95%	303,309	5,084
5			0.44%	44.39%	70.16%	201,799	5,738
6			1.05%	44.20%	102.52%	452,933	6,245
7	要注意先	非デフォルト	2.34%	43.95%	115.39%	119,370	1,502
8			6.02%	44.27%	148.15%	33,138	459
9			13.60%	45.64%	212.07%	40,254	119
10	要管理先	デフォルト	100.00%	44.43%		18,087	9
11	破綻懸念先		100.00%	44.10%		15,792	199
12	実質破綻先		100.00%	45.63%		7,122	—
13	破綻先		100.00%	44.50%		1,048	—
合計			2.74%	40.26%	56.18%	1,908,526	268,425

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項 (連結・単体)

② ソブリン向けエクスポージャー

○ 連結

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2018年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.00%	45.00%	1.20%	2,057,594	558,464
2			—	—	—	—	—
3			0.07%	45.00%	42.12%	9,359	—
4			—	—	—	—	—
5			—	—	—	—	—
6			1.06%	45.00%	79.65%	9	—
7	要注意先	非デフォルト	2.35%	45.00%	107.26%	0	—
8			6.07%	45.00%	157.98%	808	—
9			—	—	—	—	—
10	要管理先	デフォルト	—	—	—	—	—
11	破綻懸念先		—	—	—	—	—
12	実質破綻先		—	—	—	—	—
13	破綻先		—	—	—	—	—
合計			0.00%	45.00%	1.39%	2,067,772	558,464

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2019年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.00%	45.00%	1.05%	2,089,685	674,767
2			0.03%	45.00%	27.40%	12,009	—
3			—	—	—	—	—
4			0.25%	45.00%	75.58%	2,281	—
5			0.44%	45.00%	92.56%	2	—
6			—	—	—	—	—
7	要注意先	非デフォルト	2.34%	45.00%	107.11%	0	—
8			6.02%	45.00%	174.21%	796	—
9			—	—	—	—	—
10	要管理先	デフォルト	—	—	—	—	—
11	破綻懸念先		—	—	—	—	—
12	実質破綻先		—	—	—	—	—
13	破綻先		—	—	—	—	—
合計			0.00%	45.00%	1.27%	2,104,776	674,767

○ 単体

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2018年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.00%	45.00%	1.20%	2,057,070	558,464
2			—	—	—	—	—
3			0.07%	45.00%	42.12%	9,359	—
4			—	—	—	—	—
5			—	—	—	—	—
6			1.06%	45.00%	79.65%	9	—
7	要注意先	非デフォルト	2.35%	45.00%	107.26%	0	—
8			6.07%	45.00%	157.98%	808	—
9			—	—	—	—	—
10	要管理先	デフォルト	—	—	—	—	—
11	破綻懸念先		—	—	—	—	—
12	実質破綻先		—	—	—	—	—
13	破綻先		—	—	—	—	—
合 計			0.00%	45.00%	1.39%	2,067,248	558,464

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2019年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.00%	45.00%	1.05%	2,089,273	674,767
2			0.03%	45.00%	27.40%	12,009	—
3			—	—	—	—	—
4			0.25%	45.00%	75.58%	2,281	—
5			0.44%	45.00%	92.56%	2	—
6			—	—	—	—	—
7	要注意先	非デフォルト	2.34%	45.00%	107.11%	0	—
8			6.02%	45.00%	174.21%	796	—
9			—	—	—	—	—
10	要管理先	デフォルト	—	—	—	—	—
11	破綻懸念先		—	—	—	—	—
12	実質破綻先		—	—	—	—	—
13	破綻先		—	—	—	—	—
合 計			0.00%	45.00%	1.27%	2,104,363	674,767

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

③ 金融機関等向けエクスポージャー

○ 連結

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2018年度中間期					
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値		
						オン・バランス	オフ・バランス	
1	正常先	非デフォルト	0.03%	13.73%	4.12%	20,864	125,339	
2			0.03%	8.89%	3.18%	33,602	226,860	
3			0.07%	45.00%	26.94%	3,405	—	
4			0.29%	45.00%	49.56%	4,160	—	
5			—	—	—	—	—	
6			1.06%	45.00%	103.43%	287	10,028	
7	要注意先	デフォルト	2.35%	45.00%	132.44%	0	—	
8			—	—	—	—	—	
9			—	—	—	—	—	
10			要管理先	—	—	—	—	—
11			破綻懸念先	—	—	—	—	—
12			実質破綻先	—	—	—	—	—
13			破綻先	—	—	—	—	—
合 計			0.06%	12.07%	6.58%	62,321	362,228	

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2019年度中間期					
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値		
						オン・バランス	オフ・バランス	
1	正常先	非デフォルト	0.03%	8.61%	3.52%	17,360	201,523	
2			0.03%	18.53%	9.28%	31,896	101,000	
3			0.06%	10.39%	5.09%	8,040	45,248	
4			0.25%	45.00%	58.23%	920	—	
5			—	—	—	—	—	
6			1.05%	39.96%	150.88%	3	—	
7	要注意先	デフォルト	—	—	—	—	—	
8			—	—	—	—	—	
9			—	—	—	—	—	
10			要管理先	—	—	—	—	—
11			破綻懸念先	—	—	—	—	—
12			実質破綻先	—	—	—	—	—
13			破綻先	—	—	—	—	—
合 計			0.03%	12.17%	5.74%	58,221	347,772	

○ 単体

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2018年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.03%	13.73%	4.12%	20,864	125,339
2			0.03%	8.89%	3.18%	33,602	226,860
3			0.07%	45.00%	26.94%	3,405	—
4			0.29%	45.00%	49.56%	4,160	—
5			—	—	—	—	—
6			1.06%	45.00%	103.43%	287	10,028
7	要注意先	非デフォルト	—	—	—	—	—
8			—	—	—	—	—
9			—	—	—	—	—
10	要管理先	デフォルト	—	—	—	—	—
11	破綻懸念先		—	—	—	—	—
12	実質破綻先		—	—	—	—	—
13	破綻先		—	—	—	—	—
合 計			0.06%	12.07%	6.58%	62,321	362,228

(単位：百万円)

債務者 格付	債務者区分	デフォルト 区分	2019年度中間期				
			PDの推計値	LGDの推計値の 加重平均値	リスク・ウェイト の加重平均値	EADの推計値	
						オン・バランス	オフ・バランス
1	正常先	非デフォルト	0.03%	8.61%	3.52%	17,360	201,523
2			0.03%	18.53%	9.28%	31,896	101,000
3			0.06%	10.39%	5.09%	8,040	45,248
4			0.25%	45.00%	58.23%	920	—
5			—	—	—	—	—
6			1.05%	39.96%	150.88%	3	—
7	要注意先	非デフォルト	—	—	—	—	—
8			—	—	—	—	—
9			—	—	—	—	—
10	要管理先	デフォルト	—	—	—	—	—
11	破綻懸念先		—	—	—	—	—
12	実質破綻先		—	—	—	—	—
13	破綻先		—	—	—	—	—
合 計			0.03%	12.17%	5.74%	58,221	347,772

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項 (連結・単体)

④ PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー

○ 連結

(単位：百万円)

債務者格付	債務者区分	デフォルト区分	2018年度中間期			2019年度中間期		
			PDの推計値	リスク・ウェイトの加重平均値	エクスポージャーの額	PDの推計値	リスク・ウェイトの加重平均値	エクスポージャーの額
1	正常先	非デフォルト	0.03%	109.75%	3,411	0.03%	108.03%	1,780
2			0.03%	106.82%	14,806	0.03%	107.19%	14,811
3			0.07%	107.36%	7,077	0.06%	106.06%	6,972
4			0.29%	179.08%	1,448	0.25%	164.39%	1,683
5			0.46%	192.67%	687	0.44%	196.62%	467
6			1.06%	265.11%	652	1.05%	266.57%	647
7	要注意先	非デフォルト	2.35%	316.31%	9	2.34%	321.35%	9
8			6.07%	378.76%	89	6.02%	437.41%	24
9			13.98%	518.51%	139	13.60%	514.77%	103
10	要管理先	デフォルト	100.00%		0	100.00%		0
11	破綻懸念先		100.00%		0	100.00%		0
12	実質破綻先		100.00%		0	100.00%		0
13	破綻先		—		—	100.00%		0
合計			0.18%	119.69%	28,323	0.14%	118.02%	26,499

○ 単体

(単位：百万円)

債務者格付	債務者区分	デフォルト区分	2018年度中間期			2019年度中間期		
			PDの推計値	リスク・ウェイトの加重平均値	エクスポージャーの額	PDの推計値	リスク・ウェイトの加重平均値	エクスポージャーの額
1	正常先	非デフォルト	0.03%	109.75%	3,411	0.03%	108.03%	1,780
2			0.03%	106.82%	14,806	0.03%	107.19%	14,811
3			0.07%	107.34%	7,235	0.06%	106.06%	6,979
4			0.29%	179.08%	1,448	0.25%	163.80%	1,833
5			0.46%	192.67%	687	0.44%	196.62%	467
6			1.06%	328.81%	4,131	1.05%	326.97%	3,651
7	要注意先	非デフォルト	2.35%	316.31%	9	2.34%	321.35%	9
8			6.07%	378.76%	89	6.02%	437.41%	24
9			13.98%	518.51%	139	13.60%	514.77%	103
10	要管理先	デフォルト	100.00%		0	100.00%		0
11	破綻懸念先		100.00%		0	100.00%		0
12	実質破綻先		100.00%		0	100.00%		0
13	破綻先		—		—	100.00%		0
合計			0.27%	143.69%	31,959	0.24%	140.70%	29,660

- (注) 1. 事業法人向けエクスポージャーには、特定貸付債権及び購入債権は含まれておりません。
 2. 債務者格付1ランクのPD推計値については、国及び地方公共団体向けエクスポージャーを除いて0.03%を下限として適用しております。
 3. パラメータの推計値及びリスク・ウェイトの加重平均値は、信用リスク削減手法を勘案した後の値を使用しております。
 4. リスク・ウェイトの加重平均値は、1.06のスケールリング・ファクターを乗じた後の信用リスク・アセットの額を基に算出しております。
 5. オフ・バランス資産項目のEADの推計値は、CCF（与信換算掛目）を適用した後の値を使用しております。
 6. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーには、期待損失額に1250%を乗じて得た額は含まれておりません。

■ リテール・プール区分ごとのパラメータの推計値及びリスク・ウェイト

① 居住用不動産向けエクスポージャー

○ 連結

(単位：百万円)

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.34%	40.40%		21.18%	623,343			
延滞	41.71%	39.19%		228.91%	1,139			
デフォルト	100.00%	35.81%	32.83%	39.57%	6,718			
合計	1.47%	40.35%		21.75%	631,201			

(単位：百万円)

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.33%	41.05%		21.36%	685,148			
延滞	42.34%	41.17%		239.18%	1,174			
デフォルト	100.00%	36.88%	33.18%	49.11%	7,317			
合計	1.45%	41.00%		22.02%	693,640			

○ 単体

(単位：百万円)

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.34%	40.40%		21.18%	623,343			
延滞	41.71%	39.19%		228.91%	1,139			
デフォルト	100.00%	35.80%	32.82%	39.54%	6,712			
合計	1.47%	40.35%		21.75%	631,195			

(単位：百万円)

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.33%	41.05%		21.36%	685,148			
延滞	42.34%	41.17%		239.18%	1,174			
デフォルト	100.00%	36.94%	33.21%	49.34%	7,276			
合計	1.44%	41.00%		22.02%	693,599			

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

② 適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー

○ 連結

(単位：百万円)

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	1.38%	71.53%		35.38%	17,075	12,928	32,449	40.77%
延滞	31.97%	70.68%		225.65%	143	6	14	42.08%
デフォルト	100.00%	68.69%	68.69%	0.00%	228	6	16	40.29%
合計	2.30%	71.51%		36.05%	17,447	12,941	32,481	40.77%

(単位：百万円)

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	1.41%	74.76%		38.70%	17,141	13,014	32,018	41.65%
延滞	34.52%	72.90%		235.23%	149	5	14	40.61%
デフォルト	100.00%	69.93%	69.93%	0.00%	215	10	25	40.73%
合計	2.31%	74.72%		39.41%	17,505	13,030	32,057	41.64%

○ 単体

本項目につきましては、単体と連結グループが同じ計数です。

③ その他リテール向けエクスポージャー（消費性）

○ 連結

(単位：百万円)

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.88%	61.64%		53.26%	85,747	2,336	7,900	29.55%
延滞	38.62%	71.99%		202.61%	332	0	0	29.55%
デフォルト	100.00%	52.67%	52.67%	0.00%	796	0	0	29.55%
合計	1.90%	61.60%		53.34%	86,875	2,336	7,900	29.55%

(単位：百万円)

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.87%	61.60%		52.93%	88,126	2,043	7,190	28.39%
延滞	38.74%	74.51%		209.75%	344	0	0	28.39%
デフォルト	100.00%	51.99%	51.99%	0.00%	759	2	10	28.39%
合計	1.84%	61.57%		53.08%	89,230	2,046	7,201	28.39%

○ 単体

(単位：百万円)

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.88%	61.64%		53.26%	85,747	2,336	7,900	29.55%
延滞	38.62%	71.99%		202.61%	332	0	0	29.55%
デフォルト	100.00%	52.67%	52.67%	0.00%	796	0	0	29.55%
合計	1.90%	61.60%		53.34%	86,875	2,336	7,900	29.55%

(単位：百万円)

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	0.87%	61.60%		52.93%	88,126	2,043	7,190	28.39%
延滞	38.74%	74.51%		209.75%	344	0	0	28.39%
デフォルト	100.00%	51.99%	51.99%	0.00%	759	2	10	28.39%
合計	1.84%	61.57%		53.08%	89,230	2,046	7,201	28.39%

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

④ その他リテール向けエクスポージャー（事業性）

○ 連結

（単位：百万円）

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	1.41%	49.05%		49.64%	21,025	863	3,711	19.16%
延滞	25.08%	47.54%		122.23%	38	—	—	—
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1.45%	49.05%		49.77%	21,063	863	3,711	19.16%

（単位：百万円）

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	1.38%	48.61%		49.39%	21,155	818	3,674	18.93%
延滞	26.99%	51.10%		134.49%	24	0	5	18.93%
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1.41%	48.62%		49.49%	21,179	818	3,679	18.93%

○ 単体

（単位：百万円）

プール区分	2018年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	1.43%	49.33%		50.10%	20,499	863	3,711	19.16%
延滞	25.08%	47.54%		122.23%	38	—	—	—
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1.47%	49.32%		50.23%	20,537	863	3,711	19.16%

（単位：百万円）

プール区分	2019年度中間期							
	PDの推計値の加重平均値	LGDの推計値の加重平均値	Eldefaultの推計値の加重平均値	リスク・ウェイトの加重平均値	EADの推計値		コミットメントの未引出額	掛目の推計値の加重平均値
					オン・バランス	オフ・バランス		
非延滞	1.40%	48.91%		49.90%	20,594	818	3,674	18.93%
延滞	26.99%	52.30%		137.63%	23	0	5	18.93%
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1.43%	48.91%		50.00%	20,617	818	3,679	18.93%

- （注） 1. パラメータの推計値及びリスク・ウェイトの加重平均値は、信用リスク削減手法を勘案した後の値を使用しております。
 2. 「Eldefault」とは、デフォルトしたエクスポージャーにおいて、当該エクスポージャーに生じうる期待損失です。
 3. リスク・ウェイトの加重平均値は、1.06のスケールリング・ファクターを乗じた後の信用リスク・アセットの額を基に算出しております。
 4. オフ・バランス資産項目のEADの推計値は、CCF（与信換算掛目）を適用した後の値を使用しております。

7 内部格付手法を適用するエクスポージャーごとの直前期における損失の実績値及び当該実績値と過去の実績値との対比並びに要因分析

○ 連結

(単位：百万円)

	損失額の実績値		対比
	2018年度中間期	2019年度中間期	
	A	B	C (=B-A)
事業法人向けエクスポージャー	21,030	20,641	△389
ソブリン向けエクスポージャー	—	—	—
金融機関等向けエクスポージャー	—	—	—
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	1,662	2,101	438
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	228	219	△9
その他リテール向けエクスポージャー	93	89	△4
合 計	23,015	23,051	35

○ 単体

(単位：百万円)

	損失額の実績値		対比
	2018年度中間期	2019年度中間期	
	A	B	C (=B-A)
事業法人向けエクスポージャー	21,030	20,641	△389
ソブリン向けエクスポージャー	—	—	—
金融機関等向けエクスポージャー	—	—	—
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	1,553	2,016	463
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	228	219	△9
その他リテール向けエクスポージャー	83	79	△3
合 計	22,896	22,956	60

<損失額の実績値の増減要因>

ほぼ昨年と同様の損失額であり大きな増減は認められません。

(注) 1. 損失額の実績値は、以下を合計した額です。

- ・個別貸倒引当金、要管理先に対する一般貸倒引当金の期末残高。
- ・期中に発生した直接償却額、債権売却損、債権放棄額。

2. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーの損失額の実績値には、価格変動リスクの実現のみによる売却損や償却は含めておりません。

8 内部格付手法を適用するエクスポージャーごとの長期にわたる損失額の推計値と実績値との対比

○ 連結

(単位：百万円)

	損失額の推計値	損失額の実績値	対比
	2018年度中間期	2019年度中間期	
	A	B	C (=B-A)
事業法人向けエクスポージャー	25,821	20,641	△5,180
ソブリン向けエクスポージャー	45	—	△45
金融機関等向けエクスポージャー	68	—	△68
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	3,237	2,101	△1,135
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	518	219	△298
その他リテール向けエクスポージャー	1,222	89	△1,132
合 計	30,913	23,051	△7,862

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

○ 単体

（単位：百万円）

	損失額の推計値	損失額の実績値	対比 C (=B-A)
	2018年度中間期	2019年度中間期	
	A	B	
事業法人向けエクスポージャー	25,666	20,641	△5,025
ソブリン向けエクスポージャー	45	—	△45
金融機関等向けエクスポージャー	68	—	△68
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	3,235	2,016	△1,218
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	518	219	△298
その他リテール向けエクスポージャー	1,220	79	△1,141
合 計	30,755	22,956	△7,798

4. 信用リスク削減手法に関する事項

■ 信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額

（単位：百万円）

	2018年度中間期			
	適格金融資産担保	適格資産担保	適格保証	適格クレジット・デリバティブ
標準的手法が適用されるポートフォリオ	—	—	—	—
内部格付手法が適用されるポートフォリオ	516,011	104,693	173,056	—
事業法人向けエクスポージャー	205,373	104,693	85,900	—
ソブリン向けエクスポージャー	—	—	75,210	—
金融機関等向けエクスポージャー	310,637	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	—	—	3	—
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	—	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	—	—	11,941	—
合 計	516,011	104,693	173,056	—

（単位：百万円）

	2019年度中間期			
	適格金融資産担保	適格資産担保	適格保証	適格クレジット・デリバティブ
標準的手法が適用されるポートフォリオ	—	—	—	—
内部格付手法が適用されるポートフォリオ	526,354	105,296	132,337	—
事業法人向けエクスポージャー	228,184	105,296	77,206	—
ソブリン向けエクスポージャー	—	—	44,063	—
金融機関等向けエクスポージャー	298,169	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	—	—	2	—
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	—	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	—	—	11,064	—
合 計	526,354	105,296	132,337	—

- （注）1. 本項目につきましては、単体と連結グループが同じ計数です。
 2. 信用リスク削減手法が適用される前のエクスポージャー区分ごとに記載しております。
 3. 複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド等）については、記載を省略しております。

5. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

1 与信相当額の算出に用いる方式

当行の単体及び連結グループでは、先渡、スワップ、オプションその他の派生商品取引及び長期決済期間取引の与信相当額をカレント・エクスポージャー方式にて算出しております。

2 グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る。）の合計額

○連結

(単位：百万円)

	2018年度中間期	2019年度中間期
グロス再構築コストの合計額	4,173	2,047

○単体

(単位：百万円)

	2018年度中間期	2019年度中間期
グロス再構築コストの合計額	4,161	2,047

(注) 複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド等）については、記載を省略しております。

3 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額及びグロスの再構築コストの額とグロスのアドオンの額の合計額から当該与信相当額を差し引いた額

○連結

(単位：百万円)

種類及び取引の区分	2018年度中間期		2019年度中間期	
	効果勘案前	効果勘案後	効果勘案前	効果勘案後
派生商品取引の与信相当額	7,709	7,709	4,553	4,553
外国為替関連取引及び金関連取引	7,195	7,195	3,904	3,904
金利関連取引	514	514	648	648
株式関連取引	—	—	—	—
貴金属関連取引（金関連取引を除く。）	—	—	—	—
その他のコモディティ関連取引	—	—	—	—
クレジット・デリバティブ	—	—	—	—
長期決済期間取引	12	12	—	—
合計 (A)	7,722	7,722	4,553	4,553
グロスの再構築コストの額とグロスのアドオンの額の合計額 (B)	7,722		4,553	
差額 (B-A)	—		—	

○単体

(単位：百万円)

種類及び取引の区分	2018年度中間期		2019年度中間期	
	効果勘案前	効果勘案後	効果勘案前	効果勘案後
派生商品取引の与信相当額	7,709	7,709	4,553	4,553
外国為替関連取引及び金関連取引	7,195	7,195	3,904	3,904
金利関連取引	514	514	648	648
株式関連取引	—	—	—	—
貴金属関連取引（金関連取引を除く。）	—	—	—	—
その他のコモディティ関連取引	—	—	—	—
クレジット・デリバティブ	—	—	—	—
長期決済期間取引	—	—	—	—
合計 (A)	7,709	7,709	4,553	4,553
グロスの再構築コストの額とグロスのアドオンの額の合計額 (B)	7,709		4,553	
差額 (B-A)	—		—	

(注) 1. 原契約期間が5営業日以内の外為関連取引の与信相当額は上記記載から除いております。

2. 当行では、派生商品取引の与信相当額の算出にあたって、法的に有効な相対ネットリング契約によるネットリング効果は用いておりません。

3. 複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド等）については、記載を省略しております。

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

4 担保の種類別の額

2018年度中間期、2019年度中間期のいずれの期の連結・単体とも信用リスク削減に用いた担保はございません。

5 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の与信相当額

担保による信用リスク削減の効果をを用いていないため、担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の額も勘案前と同額になります。

6 与信相当額算出の対象となるクレジット・デリバティブの想定元本額をクレジット・デリバティブの種類別、かつ、プロテクションの購入又は提供の別に区分した額

当行の単体及び連結グループで該当する取引はございません。

(注) 複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド等）については、記載を省略しております。

7 信用リスク削減手法の効果を勘案するために用いているクレジット・デリバティブの想定元本額

当行の単体及び連結グループで該当する取引はございません。

(注) 複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド等）については、記載を省略しております。

6. 連結グループがオリジネーターである証券化エクスポージャーに関する事項

当行の単体及び連結グループで該当する取引はございません。

7. 連結グループが投資家である証券化エクスポージャーに関する事項

当行の単体及び連結グループで該当する取引はございません。

8. 株式等エクスポージャーに関する事項

(単位：百万円)

	2018年度中間期		2019年度中間期	
	連結	単体	連結	単体
貸借対照表計上額	119,129	119,129	98,896	98,896
上場株式等エクスポージャー	106,466	106,466	86,366	86,366
上記以外	12,662	12,662	12,530	12,530
時価	119,129	119,129	98,896	98,896
売却及び償却に伴う損益の額	4,047	4,047	△49	△49
貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額	34,586	34,586	26,727	26,727
貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額	—	—	—	—
株式等エクスポージャーの額	84,542	84,542	72,169	72,169
PD/LGD方式が適用される株式等エクスポージャー	31,959	31,959	29,660	29,660
マーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャー	52,583	52,583	42,508	42,508
マーケット・ベース方式の内部モデル手法が適用される株式等エクスポージャー	—	—	—	—
リスク・ウェイト1250%を適用するエクスポージャー	—	—	—	—

(注) 1. 株式等エクスポージャーの額について、その他有価証券に該当するものについては、評価益相当額を控除した額を記載しております。
 2. 株式等エクスポージャーの額について、調整項目の額に算入される部分の額は含めておりません。
 3. 複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド等）については、記載を省略しております。

9. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

自己資本比率告示改正前

(単位：百万円)

	エクスポージャーの額	
	2018年度中間期	
	連結	単体
ルック・スルー方式	356,147	356,147
修正単純過半数方式	12,989	15,372
マンドート方式	8,556	9,984
簡便方式（リスク・ウェイト400%）	—	—
簡便方式（リスク・ウェイト1250%）	—	—
合 計	377,693	381,505

- (注) 1. 自己資本比率告示改正とは、2019年3月15日公布の告示改正を指します。告示改正前後の比較はできないため、エクスポージャーの額は2018年度中間期と2019年度中間期を別々に記載しています。
2. 「ルック・スルー方式」とは、改正前自己資本比率告示第167条第1項の規定に従い、ファンド等の複数のリスク資産について、個々の資産の債務者格付、証券化取引における格付あるいは特定貸付債権格付を基にリスク・ウェイトを計算する方式です。
3. 「修正単純過半数方式」とは、改正前自己資本比率告示第167条第2項の規定に従い、ファンドの過半数を占める株式等エクスポージャーがある場合に、当該株式等エクスポージャーのリスク・ウェイトをファンドの総額に乗じて信用リスク・アセットの額を算出する方式です。このとき、株式等エクスポージャーのリスク・ウェイトが複数ある場合には、その最も高いものを適用しております。
4. 「マンドート方式」とは、改正前自己資本比率告示第167条第3項の規定に従い、裏付けとなる資産の運用に関する基準により、リスク・ウェイトが最大となる資産構成を想定して、リスク・ウェイトを計算する方式です。
5. 「簡便方式」とは、改正前自己資本比率告示第167条第5項の規定に従い、裏付けとなる個々の資産のリスク・ウェイトの加重平均が400%を下回る蓋然性が高いことが疎明できる場合にリスク・ウェイト400%として計算し、それ以外の場合にはリスク・ウェイト1250%として計算する方式です。

自己資本比率告示改正後

(単位：百万円)

	エクスポージャーの額	
	2019年度中間期	
	連結	単体
ルック・スルー方式	390,339	393,979
マンドート方式	2,798	3,255
蓋然性方式（250%）	—	—
蓋然性方式（400%）	—	—
フォールバック方式	—	—
合 計	393,138	397,234

- (注) 1. 「ルック・スルー方式」とは、改正後自己資本比率告示第167条第2項から第6項の規定に従い、ファンド等の複数のリスク資産について、個々の資産の債務者格付、証券化取引における格付あるいは特定貸付債権格付を基にリスク・ウェイトを計算する方式です。
2. 「マンドート方式」とは、改正後自己資本比率告示第167条第7項から第9項の規定に従い、裏付けとなる資産の運用に関する基準により、リスク・ウェイトが最大となる資産構成を想定して、リスク・ウェイトを計算する方式です。
3. 「蓋然性方式」とは、改正後自己資本比率告示第167条第10項の規定に従い、上記1.「ルック・スルー方式」および上記2.「マンドート方式」が適用できない場合であって、裏付けとなる個々の資産のリスク・ウェイトの加重平均が250%以下（あるいは250%超400%以下）となる蓋然性が高いことが疎明できる場合に、リスク・ウェイト250%（あるいは400%）として計算する方式です。
4. 「フォールバック方式」とは、改正後自己資本比率告示第167条第11項の規定に従い、上記1.「ルック・スルー方式」、上記2.「マンドート方式」および上記3.「蓋然性方式」が適用できない場合に、リスク・ウェイト1250%として計算する方式です。

自己資本の充実等の状況 定量的開示事項（連結・単体）

10. 金利リスクに関する事項

○ 連結

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク		ΔEVE	
項番		2018年度中間期	2019年度中間期
1	上方パラレルシフト	—	27,444
2	下方パラレルシフト	—	26,999
3	スティープ化	—	7,089
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	—	27,444
		2019年度中間期	
8	自己資本の額		317,420

○ 単体

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク		ΔEVE	
項番		2018年度中間期	2019年度中間期
1	上方パラレルシフト	—	27,444
2	下方パラレルシフト	—	26,999
3	スティープ化	—	7,089
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	—	27,444
		2019年度中間期	
8	自己資本の額		306,551

(注) ΔEVEは2018年度からの開示となっているため、2018年度中間期は記載していません。

(2018年度中間期開示事項)

金利リスクに関して銀行が内部管理上使用した金利ショックに対する損益又は経済的価値の増減額

(単位：百万円)

金利ショックに対する経済的価値の増減額	2018年度中間期	
	コア預金考慮前	コア預金考慮後
VaR	39,796	7,381

(注) 1. 信頼水準99%、保有期間60日、観測期間1年

2. 連結グループの銀行勘定には、当行以外に該当がないため、本項目につきましては、単体と連結グループが同じ計数です。

自己資本の充実等の状況 用語解説

【自己資本比率関係】

- **リスク・アセット（信用リスク・アセット）**
リスクを有する資産（貸出金や有価証券など）を、リスクの大きさに応じて掛け目を乗じ、再評価した資産金額。
- **リスク・ウェイト**
信用リスク・アセットを算出するための掛け目。
- **エクスポージャー**
リスクに晒されている資産のことを指しており、具体的には貸出金、外国為替取引、デリバティブ取引などの与信取引と債券、株式などの有価証券取引が該当する。

【信用リスク関係】

- **クレジット・デリバティブ**
特定の企業や債券の信用リスクを売買するオフ・バランス取引。「プロテクションの購入者」が信用リスクの出し手（ヘッジ）となりプレミアム（保険料）を支払い、「プロテクションの提供者」が信用リスクの買い手となり、対価としてプレミアムを受け取る。
- **ローン・パーティシペーション**
金融機関と企業との間のローン契約に係る権利義務はそのままとして、ローン契約中の金利支払請求権と元本返済請求権の分配に投資家が参加する契約。
- **適格格付機関**
自己資本比率規制において、金融機関がリスクを算出するにあたって、用いることができる格付を付与する格付機関のこと。
- **適格金融資産担保**
信用リスク削減手法として用いることができる金融資産担保。
- **法的に有効な相対ネットティング契約の効果**
法的に有効な契約で、担保処分等において一定の条件を満たす取引の場合、複数の債権・債務をネットティング（相殺）した上で信用リスクエクスポージャーを算出することができる。この手法を利用することにより、リスク・アセットの削減効果が得られる。
- **PD（Probability Of Default：デフォルト率）**
債務者が1年間にデフォルト状態に陥る確率。
- **LGD（Loss Given Default：デフォルト時損失率）**
デフォルトしたエクスポージャーのEADに対して、最終的に発生する経済的損失額の割合。
- **EAD（Exposure At Default：デフォルト時エクスポージャー）**
デフォルトした時におけるエクスポージャーの額。

【オペレーショナル・リスク関係】

- **オペレーショナル・リスク**
銀行の業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生するリスク。
- **粗利益配分手法**
オペレーショナル・リスクにおけるリスク相当額の算出方法の一つ。
具体的には、1年間の粗利益を8つの業務区分に配分し、一定の掛目（12～18%）を掛けた額を合計し、その合計額の直近3年間の平均値をリスク量とする手法。

【市場リスク関係】

- **カレント・エクスポージャー**
派生商品取引の取引先の倒産時における損失予想額を算出する方式。時価評価により算出した再構築コストと、そのコスト金額の将来変動見込額（アドオン）を合算したものの。
- **再構築コスト**
現在と同等の派生商品取引を再度構築するのに必要なコスト金額。
- **アドオン**
評価時点以降に発生する可能性のある潜在的なリスク。想定元本に残存期間と取引種類に応じて決定されている掛目を乗じて算出する。
- **オリジネーター**
保有する資産を流動化し、資金を調達する者（原資産の所有者）。
- **VaR（Value at Risk（バリュー・アット・リスク））**
将来の特定の期間内（保有期間）に、ある一定の確率（信頼水準）で、相場変動によって生じる可能性のある時価ベースの最大損失額を統計的に求める手法。

【金利リスク関係】

- **コア預金**
明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金のこと。
- **ΔEVE（EVE：Economic Value of Equity）**
金利ショック（一定の金利変化）を与えて現在価値の変化を計測した際に、資本部分の経済的価値の減少額として計測されるもの。